

平成 26 年 度 事 業 報 告 書

自 平成26年 4 月 1 日

至 平成27年 3 月31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 評議員等	2
(1) 評議員（任期：平成24年4月1日～平成28年3月31日）	2
(2) 役員（任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日）	2
(3) アドバイザー	2
3. 会 議	3
(1) 評議員会の開催	3
(2) 理事会の開催	3
(3) アドバイザリー会議の開催	4
4. 規程の制定および一部改正	4
(1) 規程の制定および一部改正	4
5. 事務局機構	4
6. 届出・登記事項	4
III. 事業報告【公益目的事業】	5
1. 普及および振興	5
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）	5
(2) 学校スポーツとしての育成	5
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進	7
2. 競技力の向上	7
(1) ゲートボール技能認定	7
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）	8
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催	8
(1) 全国大会の開催	8
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援	10
4. 国民体育大会	11
(1) 公開競技開催準備	11
(2) 国民体育大会の正式競技種目採択のための活動	11

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘	12
(1) 世界ゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）.....	12
(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）.....	14
(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）.....	14
6. 競技規則に関すること	14
7. 指導者の養成	15
(1) 地域指導者の育成（日本財団助成事業）.....	15
(2) 公認指導者の養成.....	15
(3) 公認指導者による活動の促進支援.....	17
8. 審判員の養成および認定	17
(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）.....	17
(2) 審判員資格試験の実施.....	18
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施.....	18
(4) 永年審判員登録者数.....	18
(5) 国際審判員資格試験の実施.....	18
9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定	24
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	24
11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	24
(1) 功労者等の表彰.....	24
(2) 各種大会への後援.....	24
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止.....	25
(4) 広報事業.....	27
(5) 会員データシステムの構築・整備.....	27
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集.....	28
【参考：各種名簿】	30
別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）.....	30
別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）.....	30
別表第3 監事：任期2年（2名以内）.....	30
別表第4 アドバイザー.....	31
別表第5 事務局組織図.....	31
【平成26年度事業報告における附属明細書】	32

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及を通じて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい国民生活の形成、活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

平成26年度も、「II. 事業報告」に記載のとおり、公認審判員及び公認指導者の育成・資質向上、競技会の開催、広報活動等各種普及事業を実施し、競技力向上を図る一方、愛好者の少ないジュニア世代の充実を図るため、従来より実施している中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援する事業を継続するとともに、小学生等へのゲートボール普及の兆しのある機関に用具を寄贈し、公認指導者の指導により愛好者の維持・拡大に努めた。

特に、4年ごとに開催している世界選手権大会（主催：世界ゲートボール連合）については、第11回大会を日本国・新潟県で主管し、本大会に初めてヨーロッパのチームが参加した。外国選手のプレーを間近に見ることにより競技力の向上と国際親善の促進に寄与した。

また、平成27年4月1日の公式国際ゲートボール競技規則の改正実施に備え、各地域で公認審判員への伝達を行い日本国での対応に万全を期した。

なお、各事業の実施にあたり、日本連合は都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調してしているが、特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金の支援いただいているほか、日本スポーツ振興センター、スポーツ安全協会の支援をいただいている。

II. 事務報告

1. 基本財産

平成27年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、104,168,000円となっている。

2. 評議員等

(1) 評議員（任期：平成24年4月1日～平成28年3月31日）

日本連合の評議員は7名以上10名以内である。平成27年3月31日現在の評議員は、評議員名簿（別表第1）のとおり9名で、平成26年度における評議員の異動はなかった。

(2) 役員（任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日）

日本連合の理事は7名以上10名以内、監事は2名以内である。平成27年3月31日現在の役員は、理事名簿（別表第2）のとおり理事9名、監事名簿（別表第3）のとおり監事2名で、任期満了による改選の結果、再任は理事7名、監事2名、新任は理事2名だった。

新任の理事 石川恵一郎 氏

戸部英一 氏

なお、現役員の任期は、平成27年度収支決算に関する評議員会終結の時までである。

(3) アドバイザー

日本連合のアドバイザーは50名以内である。平成27年3月31日現在のアドバイザーは、アドバイザー名簿（別表第4）のとおり49名で、平成26年度におけるアドバイザーの異動は下記のとおりであった。

加盟団体名	変更前	変更後	備考
北海道ゲートボール連合	戸部英一	五十嵐隆男	
秋田県ゲートボール協会	佐々木兼光	成田成男	
(特)東京ゲートボール連合	高橋純一	小林茂量	
石川県ゲートボール協会	小林繁樹	安地博	
長野県ゲートボール連盟	三ツ井盈	生駒正	
岐阜県ゲートボール連盟	村山昭	宮川昭雄	
大阪ゲートボール連盟	宮本泰子	橋本健吾	
奈良県ゲートボール協会	上西綱雄	辻本環	
長崎県ゲートボール協会	清水清富美	加藤敏夫	
宮崎県ゲートボール協会	渡邊徹雄	西村忠喜	
沖縄県ゲートボール連合	玻名城英僖	大城哲夫	

3. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会および理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 平成26年度定時評議員会

- ① 開催日時：平成26年 6 月12日（木）14:00～15:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席8名、欠席1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 平成25年度事業報告ならびに収支決算の承認に関する件
 - 第2号議案 次期理事・監事の選任に関する件
 - 第3号議案 常勤役員の報酬に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第7回理事会

- ① 開催日時：平成26年 5 月22日（木）14:00～15:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事6名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 平成25年度事業報告ならびに収支決算に関する件
 - 第2号議案 平成26年度定時評議員会の開催に関する件
 - 第3号議案 平成27年度日本財団等への助成金の申請に関する件

2) 第8回理事会

- ① 開催日時：平成26年 6 月12日（木）15:40～15:50
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事9名、欠席理事0名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 会長及び専務理事、並びに常務理事の選任に関する件

3) 第9回理事会

- ① 開催日時：平成27年 3 月10日（火）10:55～11:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事7名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 平成26年度収支予算の一部補正に関する件
 - 第2号議案 平成27年度事業計画ならびに収支予算に関する件
 - 第3号議案 規程の廃止に関する件

(3) アドバイザリー会議の開催

都道府県加盟団体に1名、学識として2名のアドバイザーを委嘱し、地域との情報交換を目的にアドバイザリー会議を開催し、参加者との活発な情報交換による日本連合の円滑な事業運営を図った。

1) 第3回アドバイザリー会議

- ① 開催日時：平成26年12月2日（火）13:00～15:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：本人出席29名、代理出席3名、欠席17名
- ④ 報告事項
 - a. 日本連合の事業について
- ⑤ 連絡事項
 - a. 地域協議会連絡会議について
 - b. アンケートについて
 - c. 日本連合への要望について

4. 規程の制定および一部改正

(1) 規程の制定および一部改正

- 1) 廃止した規程（3規程）
 - 公式ゲートボール競技規則
 - 公式リレーシヨーンー2 競技規則
 - 公式リレーシヨーンー3 競技規則

5. 事務局機構

平成27年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員10名である。

6. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
 - 事業計画、事業報告等 3件
- ② 文部科学省への届出
 - 事業状況等の報告 1件
- ③ 日本体育協会への届出
 - 事業状況等の報告 2件
- ④ 日本レクリエーション協会への届出
 - 事業状況等の報告 2件

III. 事業報告【公益目的事業】

平成26年度は、昨年度より着手した、ゲートボールの更なる普及促進のための基盤となる指導者の養成、多様化する指導法の研究、用具開発や施設の整備支援、IT強化、加盟団体との組織強化等、「基礎的条件等の整備」事業を中心に、各種普及事業を展開した。

1. 普及および振興

(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体との組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

1) 広報・IT強化

本年は日本連合設立30周年を迎えることから、これまでの活動を取りまとめた30周年記念映像を制作し、第11回世界ゲートボール選手権大会等の各種事業において公開した。

2) 加盟団体の支援・組織体制の強化

各種普及事業を積極的に推進する意志があっても諸事情で実現できない加盟団体等を支援するとともに組織運営等に諸問題を抱える団体の実情調査や意見収集、今後の活動方針について検討会議を行った。

- ① 支援・強化に向けた加盟団体の訪問
- ② 加盟団体や地域協議会が立案した事業への支援
- ③ 地域連絡会議の実施

（東北・北関東・南関東・北信越・近畿・中国・四国・九州）

3) 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、普及事業に対する理解促進、業務効率の向上、のほかゲートボールやスポーツ界が抱える共通の課題や透明性のある組織運営等、スポーツ団体として把握すべき情報に関する研修・伝達を行い、ゲートボール界全体としての組織強化を図った。

- ① 期 日：平成27年2月26日（木）・27日（金）
- ② 会 場：東京都港区 品川プリンスホテル
- ③ 参加者：加盟団体役職員 57名
- ④ 内 容：〔講演：公益財団法人日本体育協会における暴力根絶の取り組み〕
岡 達生 公益財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部 部長
〔加盟団体 普及事例発表・意見交換〕

(2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指す

ためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動（クラブ・同好会）への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、13期目となる平成26年度は、新たに高等学校5校を支援した。

① 第13期（平成26・27・28年度）

1	帯広大谷高等学校	北海道
2	県立清水高等学校	千葉県
3	県立池田支援学校 美馬分校	徳島
4	県立佐賀農業高等学校	佐賀
5	クラーク記念国際高等学校 熊本上通キャンパス	熊本

② 第12期（平成25・26・27年度）

1	青森山田高等学校	青森
2	青森市立新城中学校	青森
3	秋田クラーク高等学校	秋田
4	クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス	広島
5	クラーク記念国際高等学校 小倉キャンパス	福岡

③ 第11期（平成24・25・26年度）

1	白樺学園高等学校	北海道
2	一関市立萩荘中学校	岩手
3	県立蔵王高等学校	宮城
4	植草学園大学附属高等学校	千葉
5	クラーク記念国際高等学校 横浜青葉キャンパス	神奈川

2) 第3回全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ安全協会助成事業）

高校生へのスポーツ参加の促進および高等学校におけるゲートボール活動の更なる活性化を図るため、リレーシヨン-3（3人制）競技による本大会を昨年度に引き続き開催した。

- ① 期 日：平成26年12月13日（土）
- ② 開催地：宮城県仙台市
- ③ 会場：シェルコムせんだい

- ④ 主 管：宮城県ゲートボール連盟
- ⑤ 参加数：14校（71名）
- ⑥ 成 績

順位	学 校 名	加盟団体
優 勝	出 雲 西 高 等 学 校	島 根
準優勝	県 立 朝 霞 高 等 学 校	埼 玉
第 3 位	作 新 学 院 高 等 学 校	栃 木

(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーションー2、リレーションー3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では高等学校選手権大会で採用し、全国大会等も視野に入れて普及に努めた。

2. 競技力の向上

(1) ゲートボール技能認定

競技力を向上させるための事業の一環として、平成20年度より導入したゲートボール技能認定事業を継続的に実施した。平成26年度は、1加盟団体で実施し、103名が技能保持者として登録した。

1) 加盟団体別の技能認定登録者

加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計	加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計
		1級	2級	3級				1級	2級	3級	
北海道					72	滋 賀					8
青 森					0	京 都					274
岩 手	103	2	31	70	817	大 阪					0
宮 城					126	兵 庫					439
秋 田					7	奈 良					15
山 形					66	和 歌 山					14
福 島					83	鳥 取					0
茨 城					21	島 根					0
栃 木					25	岡 山					0
群 馬					0	広 島					0
埼 玉					69	山 口					0
千 葉					32	徳 島					14
東 京					85	香 川					10
神 奈 川					39	愛 媛					12
新 潟					531	高 知					0

富 山					6	福 岡					148
石 川					0	佐 賀					79
福 井					38	長 崎					31
山 梨					0	熊 本					43
長 野					254	大 分					19
岐 阜					62	宮 崎					19
静 岡					50	鹿 児 島					30
愛 知					0	沖 縄					25
三 重					53	計	103	2	31	70	3,616

(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）

サッカーや野球などのメジャースポーツと同様に、競技スポーツとして新しいゲートボールを確立するため、第11回世界ゲートボール選手権大会の全149試合を映像収録し、昨年度から開発している専用分析ソフトを活用してすべての選手のプレーやチーム戦術等のデータ分析を行った。

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催

1) 笹川良一杯 第29回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成26年5月17日（土）・18日（日）
- ② 開 催 地：東京都世田谷区 駒沢オリンピック公園総合運動場
第二球技場・補助競技場
- ③ 主 管：特定非営利活動法人東京ゲートボール連合
- ④ 参加チーム：190チーム（1,118名）
- ⑤ 成 績

シニアクラス（48チーム）			シニアレディースクラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	王 子	佐 賀	優 勝	高知レディース	高 知
準優勝	ビ ッ カ ー ズ	東 京	準優勝	彩の国レディース	埼 玉
第3位	舘 ク ラ ブ	山 形	第3位	絹 の 里 群 馬	群 馬
	ザ ・ 小 樽	北 海 道		あ さ ひ	島 根
ミドルクラス（48チーム）			ミドルレディースクラス（46チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	福 岡 選 抜	福 岡	優 勝	みなみレディース	茨 城
準優勝	フレンズスポーツ	鹿 児 島	準優勝	千同あすなろ	広 島
第3位	小 豆 島 豊 栄	香 川	第3位	フレンズスポーツA	鹿 児 島
	出 雲 西 ク ラ ブ	島 根		イ ワ テ	岩 手

※シニアクラス・シニアレディースクラス 65歳以上の男性・女性

ミドルクラス・ミドルレディースクラス 18歳以上65歳未満の男性・女性

2) 内閣総理大臣杯 第31回全日本世代交流ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成26年8月6日(水)・7日(木)
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：40チーム (257名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	佐 多 キ ン グ	鹿 児 島
準 優 勝	小 松 島 B	徳 島
第 3 位	宮 城	宮 城
	美 浜 煙 樹	和 歌 山
文 部 科 学 大 臣 賞	小 松 島 B	徳 島

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチームを構成する。

3) 第19回全国ジュニアゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成26年8月6日(水)・7日(木)
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：68チーム (495名)
- ⑤ 成 績

ジュニア男子1部クラス (20チーム)			ジュニア女子1部クラス (16チーム)		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	出雲西高校 男子	島 根	優 勝	出雲西高校 女子	島 根
準優勝	大垣ジュニアA	岐 阜	準優勝	作新フェアリーズ	栃 木
第 3 位	作新ルーキーズ	栃 木	第 3 位	クラーク五日市南	広 島
	作新学院	栃 木		榛生昇陽高校	奈 良
ジュニア2部クラス (32チーム)			※ジュニア1部男子クラス 15歳以上18歳未満の男子 ※ジュニア1部女子クラス 15歳以上18歳未満の女子 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	黒田庄エンジェルズ	兵 庫			
準優勝	久慈来内ジュニア	岩 手			
第 3 位	わいわいクラブA	鹿 児 島			
	ジュニア島根	島 根			

4) 第16回全国社会人ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成26年8月30日(土)・31日(日)
- ② 開催地：山口県山口市 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
- ③ 主 管：山口県ゲートボール協会
- ④ 参加チーム：33チーム (204名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	水 明 荘	徳 島
準優勝	札幌市役所GB同好会	北海道
第 3 位	グリーンピアせとうち	広 島
	島根県庁クラブ	島 根

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

5) 文部科学大臣杯 第30回全日本ゲートボール選手権大会

(スポーツ振興基金助成事業)

- ① 期 日：平成26年10月25日（土）・26日（日）
- ② 開 催 地：三重県四日市市 四日市ドーム
- ③ 主 管：三重県ゲートボール連合会
- ④ 参加チーム：48チーム（301名）
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	佐 多 キ ン グ	鹿 児 島
準優勝	フ レ ン ド ス ポ ー ツ	鹿 児 島
第 3 位	北 斗 ク ラ ブ	北 海 道
	大 阪 み ど り	大 阪

※年齢・性別不問

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月19日・20日	25	北 斗 ク ラ ブ A
東 北	福 島	7月20日・21日	24	シャトル仙台(無制限) 友愛石巻(65歳以上)
			24	
北信越	福 井	5月31日・6月1日	100	ザ 松 任
北関東	群 馬	8月30日・31日	48	G B タ ッ チ 会
南関東	千 葉	9月6日	16	ブ レ イ ブ(男子の部) 大月フレンド(女子の部)
			16	
東 海	愛 知	11月9日	32	チ ョ イ デ II
近 畿	大 阪	9月6日・7日	120	大 阪 み ど り
中 国	島 根	11月15日・16日	40	上 昇 気 流 (一 般) 山口フレンド(女子)
			19	
四 国	徳 島	5月25日	48	小 豆 島 豊 栄 B
九 州	福 岡	11月8日・9日	48	ち か ら

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四 国	愛 媛	9月14日	2	北 宇 和 高 校
九 州	鹿 児 島	8月16日・17日	2	わ い わ い ク ラ ブ

③ 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四 国	高 知	10月12日	20	徳 島 県
九 州	宮 崎	8月16日・17日	18	フ レ ン ド ス ポ ー ツ A

④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北関東	群馬	8月30日・31日	8	シニア高崎

⑤ わかやま国体地域予選大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	代表
北海道	北海道	11月15日	6	北海道（男子の部）
			4	北海道（女子の部）
東北	福島	7月20日・21日	6	青森県（男子の部）
			6	岩手県（女子の部）
北関東	群馬	8月30日・31日	8	群馬県（男子の部）
			8	茨城県（女子の部）
南関東	千葉	9月6日	16	東京都（男子の部）
			16	山梨県（女子の部）
中国	島根	11月15日・16日	40	鳥取県（男子の部）
			19	山口県（女子の部）
四国	香川	平成27年3月22日	8	徳島県（男子の部）
			8	徳島県（女子の部）
九州	福岡	11月8日・9日	7	鹿児島県（男子の部）
			7	鹿児島県（女子の部）
和歌山	開催県	平成27年11月15日	16	和歌山県（男子の部）
			14	和歌山県（女子の部）

※北信越地域、近畿地域は平成27年度開催予定

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援し、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力の向上を図るとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識強化を促した。

4. 国民体育大会

(1) 公開競技開催準備

平成27年の第70回国民体育大会（和歌山大会）より公開競技として実施するゲートボール競技に関し、公開競技実施基準等の確認、今後の開催準備業務スケジュール等について、日本体育協会、開催地実行委員会、会場自治体、開催地加盟団体と協議を行った。なお、国体改革第1期（第70回～第73回）における国民体育大会の開催地およびゲートボール競技の会場は以下のとおり。

回数	開催年	開催地	会場市町村
第70回	平成27年	和歌山県	高野町
第71回	平成28年	岩手県	花巻市
第72回	平成29年	愛媛県	松山市
第73回	平成30年	福井県	若狭町

(2) 国民体育大会の正式競技種目採択のための活動

引き続き、改革第3期（第78回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎなが

ら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本体育協会、都道府県体育協会への働きかけを行った。

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

(1) 世界ゲートボール組織の支援・充実(日本財団助成事業)

日本連合設立30周年記念事業として誘致した世界ゲートボール連合主催の第11回世界ゲートボール選手権大会を新潟県新潟市で開催した。

今大会は、前回大会の13ヵ国・地域を大きく上回る過去最大の20ヵ国・地域から90チーム、計675名の監督・選手が参加した。1994年の第6回大会以来20年ぶりの参加となったタイのほか、インド、スイス、ウルグアイ、ヨーロッパが本大会初出場を果たした。また、今大会の国際審判員は、初参加となるオーストラリアを含む7ヵ国・地域から109名が派遣された。

従来からの普及国・地域と近年はじめたばかりの普及国・地域には技術・戦術レベルに大きな差があるものの、各コートで真剣勝負による国際交流が行われ、無事成功裡に終了することができた。結果、中国チームによる大会二連覇となり、人工芝には強い中国というこれまでのイメージを払しょくし、コートコンディションに 関係ない安定した実力を示した。

また、主管団体の一般財団法人新潟県ゲートボール連盟を中心とした、新潟県、新潟市および関係諸団体等の官民一体による運営体制のもと、大勢のボランティアスタッフによる大会サポートや、2,000名を越す観客が歓迎してくれたことで、参加国・地域の役員・選手等に対し、「発祥国」日本での盛大なゲートボールを披露することができた。

1) 第11回世界ゲートボール選手権大会

- ① 期 日： 平成26年9月26日（金）～28日（日）
- ② 開 催 地： 新潟県新潟市 新潟市陸上競技場
- ③ 主 管： 公益財団法人日本ゲートボール連合
一般財団法人新潟県ゲートボール連盟
- ④ 参 加 数： 90チーム（690名）

参加国・地域 (1～14は世界連合加盟団体、ほかは普及国)			参加 チーム数	参加国際 審判員数
1	A U S	オーストラリア	3	3
2	B R A	ブラジル	16	2
3	C A N	カナダ	1	
4	C H N	中華人民共和国	7	24
5	H K G	ホンコン・チャイナ	1	
6	I N A	インドネシア	6	
7	J P N	日本	16	53
8	K O R	大韓民国	9	3
9	M A C	マカオ・チャイナ	4	3

10	P A R	パラグアイ	3	
11	P E R	ペルー	1	
12	P H I	フィリピン	3	
13	T P E	チャイニーズ・タイペイ	12	21
14	U S A	アメリカ合衆国	1	
15	I N D	インド	2	
16	R U S	ロシア連邦	1	
17	S U I	スイス	1	
18	T H A	タイ	1	
19	U R U	ウルグアイ	1	
20	E U R O	ヨーロッパ	1	
1			90	109

※) 国際審判員を派遣いただいた加盟団体は以下のとおり。

- ・ 埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、福井、長野、和歌山、
- ・ 広島、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島

⑤ 成 績

順位	チーム名	国・地域
優 勝	SHANXI LINFEN CHINA 山西臨汾代表隊	CHN 中華人民共和国
準 優 勝	JOSHOKIRYU 上昇気流	JPN 日本
第 3 位	TPE HSINCHU COUNTY TPE 新竹縣	TPE チャイニーズタイペイ
	SHANGHAI GAODONG CHINA 上海高東鎮門球隊	CHN 中華人民共和国

なお、大会の円滑な運営を図るため、以下のとおり、主管団体相互の連絡調整のため役職員を派遣した。

場所	派遣期間	事業内容	派遣人数
日 本	4月7日～8日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現状視察・新潟市長表敬訪問	1名
日 本	6月18日～19日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現地打合せ	2名
日 本	7月28日～29日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現地打合せ	2名
日 本	8月21日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現地打合せ	2名
日 本	8月24日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現地打合せ	2名
日 本	9月16日～17日	第11回世界ゲートボール選手権大会 現地記者発表会出席	3名

日 本	9月23日～29日	第11回世界ゲートボール選手権大会	12名
日 本	1月21日～22日	第11回世界ゲートボール選手権大会 組織委員会出席	2名

(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）

国際交流活動の一環として世界各地の普及活動に対し、選手や国際審判員、指導員等を派遣するとともに、新潟県で開催した第11回世界ゲートボール選手権大会の円滑な運営を図るため役職員を派遣した。

さらに、これまでのホームページ等による広報活動の成果として、五大陸への普及がさらに充実した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
モンゴル	7月4日～7日	モンゴルにおける ゲートボール普及活動・現状視察	2名
ロシア	7月26日～30日	ロシア・サハリンにおける ゲートボール普及活動・現状視察	8名
南 米	1月27日～ 2月10日	ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン 審判実技講習会・現状視察	2名

(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会に日本チームおよび国際審判員の派遣協力を行い、国際親善の促進に努め、平成26年度は以下のとおり、役員、職員等を派遣した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
アメリカ	6月6日～11日	3カ国親善ゲートボール大会出席	3名
イギリス	8月17日～23日	イギリス・リボン ゲートボール交流会出席	1名
韓 国	11月4日～7日	第7回済州特別自治道杯 国際ゲートボール大会出席	18名
台 湾	11月13日～17日	2014台湾彰化国際 ゲートボール選手権大会出席	15名
香 港	2月7日～10日	第2回アジア都市招待 ユースゲートボール大会出席	15名
タ イ	2月12日～17日	タイ・ウドーンターニー 国際ゲートボール選手権大会出席	20名

6. 競技規則に関すること

平成26年9月26日、新潟県新潟市で開催された世界連合第45回理事会において、世界連合が制定する国際公式ゲートボール競技規則（以下「国際競技規則」）の改正について審議され、2015年4月1日より改正・施行することが承認された。本結果を受け、日本連合では国内における公式ゲートボール競技規則を同日・同内容にて施行

することとし、愛好者が混乱することなくスムーズに移行できるよう、各種事業を通じた伝達の強化を図った。

また、平成26年6月には、国際競技規則の改正に向け、世界連合との共働で、世界連合加盟団体を対象にした国際競技規則の改正に対する意見集約を行うとともに国際競技規則の改正内容についての検討会議を日本で実施し、本会議により最終的な改正案が作成され、前述の世界連合理事会において諮られることとなった。

実施日	場所
6月23日（月）・24日（火）	東京都港区 ガーデンシティ品川
参加加盟団体（9団体） オーストラリア／ブラジル／中華人民共和国／ホンコンチャイナ／インドネシア フィリピン／チャイニーズタイペイ／ペルー／日本	

7. 指導者の養成

(1) 地域指導者の育成（日本財団助成事業）

1) 指導者研修会（伝達講習）の開催

普及活動の根幹を担う地域指導者の資質向上および指導者のネットワークの構築を図るための研修会を実施した。今年度は平成27年4月施行の公式ゲートボール競技規則・審判実施要領の改正点を中心とした伝達講習を目的とした。

- ① 期 日：平成26年12月～平成27年3月
- ② 場 所：32都道府県 計229カ所
- ③ 参加者：公認スポーツ指導者・本連合認定審判員ほか 延べ15,000名
- ④ 内 容：公式ゲートボール競技規則・審判実施要領の改正内容

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は日本体育協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と専門科目、双方の科目を履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、引き続き指導員資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
長野	長野県松本市	平成26年6月16日～6月18日	13
東北	宮城県蔵王町	平成26年6月21日～6月23日	38
岡山	岡山県美作市	平成26年10月19日～10月21日	8
北海道	北海道芽室町	平成27年3月21日～3月29日	12
合 計			71

※ 和歌山県は日本体育協会との委託事業として、また千葉県は日本体育協会との独自事業として実施し、それぞれ 19 名、10 名が合格している。

2) 準指導員の登録者数

平成 26 年度の準指導員登録更新者数は 1 名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新数	累 計
北 海 道			3
青 森			1
栃 木		1	1
長 野			1
三 重			2
岡 山		5	7
福 岡			1
合 計	0	6	16

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

平成 26 年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は 1,231 名となり、前年度 1,429 名から 198 名の減となった。

加盟団体	登録者数	加盟団体	登録者数
北海道	18	滋 賀	9
青 森	7	京 都	28
岩 手	12	大 阪	27
宮 城	41	兵 庫	12
秋 田	8	奈 良	2
山 形	11	和歌山	2
福 島	6	鳥 取	4
茨 城	21	島 根	8
栃 木	10	岡 山	37
群 馬	28	広 島	31
埼 玉	153	山 口	5
千 葉	39	徳 島	9
東 京	19	香 川	27
神奈川	50	愛 媛	10
新 潟	128	高 知	4
富 山	7	福 岡	14

石川	20	佐賀	2
福井	18	長崎	33
山梨	12	熊本	3
長野	245	大分	15
岐阜	26	宮崎	17
静岡	19	鹿児島	8
愛知	6	沖縄	2
三重	18	合計	1,231

(3) 公認指導者による活動の促進支援

一昨年、当時の公認スポーツ指導者（ゲートボール）有資格者を対象としたアンケート調査によって、「同資格を取得したもの、活動に対する組織的支援等が不十分なことから普及活動が滞っている」等の結果が浮かび上がったことから、公認指導者の更なる発掘と新規愛好者拡大に向けた普及活動の活性化を図るため、ゲートボール普及活動推進事業基金を活用し、公認指導者が主体となって行う普及活動に必要な用具やポスター等の支援を実施した。

配布件数： 22都道府県 175件

主な普及活動・配布先		件数
1	教育機関（児童館・小学校・中学校・高等学校・大学）	102
2	職域（自治体・自衛隊・医療機関・福祉施設ほか）	7
3	その他（地区初心者教室・親子教室等ほか）	66
合計		175

8. 審判員の養成および認定

競技スポーツに必要な審判員の新規受験者・登録更新者の養成に努めた。

(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の研修会を実施した。

1) 平成26年度「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
東京	花小金井運動施設	平成26年4月28日	148名
		5月7日	143名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	平成26年7月10日	141名
		7月17日	144名
山口	山口きらら博記念公園	平成26年7月8日	91名
		7月24日	88名
三重	与作ゲートボール場 他 四日市ドーム	平成26年5月21日	94名
		9月3日	149名

長 崎	国民宿舎 青雲荘コート	平成26年 8月21日	83名
		8月22日	83名
栃 木	塩原B & G 海洋センター	平成26年 9月10日	141名
		9月11日	141名
合 計			1,446名

(2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成と技能向上を図るため、各級の審判員資格試験を実施した。

1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備 考
1 級	407	405	42加盟団体で実施
2 級	648	641	44加盟団体で実施
3 級	2,895	2,893	45加盟団体で実施
合計	3,950	3,939	

※詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」(20ページ) 参照

(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の維持・管理、技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、平成26年度の新規登録者数は3,911名、登録更新者数は32,227名となった。

1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合 計
1 級	387	5,178	5,565
2 級	629	5,135	5,764
3 級	2,895	21,914	24,809
合計	3,911	32,227	36,138

※詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」(21ページ) 参照

(4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合 計
新規登録者	6	4	2	12

※永年審判員の登録者数は「永年審判員級別一覧表」(23ページ) 参照

(5) 国際審判員資格試験の実施

国際大会に必要な国際審判員を養成するため、国際審判員に関する資格試験・登録・登録更新を実施した。

1) 国際審判員登録者数一覧表（日本国内） ※平成26年度に登録完了した者

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数	累計
埼玉					1
千葉					19
東京					47
神奈川					13
新潟	2	2	2		52
富山					2
福井					5
長野					6
滋賀					2
和歌山					1
岡山					2
広島					6
徳島				6	6
香川				6	6
福岡					4
佐賀					1
長崎					6
熊本					1
大分					1
鹿児島					3
合計	2	2	2	12	184

審判員資格試験実施結果一覧表

平成27年3月31日

加盟団体	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
北海道	10		10	11		11	70	70
青森	5		5	17		17	18	18
岩手	1		1	12		9	70	70
宮城	18		18	34	1	35	56	56
秋田	3		3	11		11	25	25
山形	7		7	15		15		
福島	7		7	10	1	10	83	83
茨城	26		26	30		30	9	9
栃木	15		15	25		25	34	34
群馬	22		22	20		20	31	31
埼玉	18		18	27		27	64	64
千葉	11		11	11		11	33	33
東京	17		17	19		19	136	136
神奈川	9		8	13		13	123	121
新潟	15		15	50		50	166	166
富山	9		9	16		16	22	22
石川				10		10		
福井	11		11	23		23	66	66
山梨	1		1	4		3	92	92
長野	34		34	52		51	160	160
岐阜	18		18	17		17	76	76
静岡	12		12	7		7	36	36
愛知	10		10	21	1	21	90	90
三重	12		12	22		22	73	73
滋賀	7		6	13		13	131	131
京都	13		13	9		9	52	52
大阪							125	125
兵庫	17		17	6		6	60	60
奈良	5		5	11		11	35	35
和歌山	7		7	12		12	22	22
鳥取	3		3	1		1	10	10
島根	12		12	5		5	53	53
岡山	8		8	6		6	38	38
広島	9		9	15		15	62	62
山口	2		2	8		8	12	12
徳島	2		2	7		7	167	167
香川	10		10	9		9	37	37
愛媛	1		1	4		4	44	44
高知							9	9
福岡	1		1	16		16	57	57
佐賀	6		6	7		7	65	65
長崎	3		3	14		14	69	69
熊本				3		3	13	13
大分	2		2	5		5	69	69
宮崎	2		2	12		12	24	24
鹿児島	6		6	5		5	173	173
沖縄							35	35
合計	407	0	405	645	3	641	2,895	2,893

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

平成27年3月31日

項目 加盟団体	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
北海道	10	11	70	91	163	145	639	947	1,038
青森	5	17	18	40	8	30	109	147	187
岩手		9	70	79	126	168	836	1,130	1,209
宮城	18	34	56	108	74	60	409	543	651
秋田	3	11	25	39	25	21	213	259	298
山形	7	15		22	138	89	224	451	473
福島	7	10	83	100	111	85	684	880	980
茨城	6	19	9	34	80	100	322	502	536
栃木	15	25	34	74	98	73	390	561	635
群馬	22	20	31	73	86	59	163	308	381
埼玉	18	27	64	109	251	128	803	1,182	1,291
千葉	11	11	33	55	85	119	320	524	579
東京	17	19	136	172	116	112	691	919	1,091
神奈川	8	13	121	142	174	181	864	1,219	1,361
新潟	15	50	166	231	289	249	1,442	1,980	2,211
富山	9	16	22	47	105	134	281	520	567
石川		10		10	74	124	133	331	341
福井	11	23	66	100	108	177	437	722	822
山梨	1	3	92	96	126	115	626	867	963
長野	34	51	160	245	407	295	1,114	1,816	2,061
岐阜	18	17	76	111	143	184	575	902	1,013
静岡	12	7	36	55	82	114	475	671	726
愛知	10	21	90	121	151	139	658	948	1,069
三重	12	22	73	107	70	114	437	621	728
滋賀	6	13	131	150	125	210	886	1,221	1,371
京都	13	9	52	74	167	194	674	1,035	1,109
大阪			125	125	91	99	38	228	353
兵庫	20	6	60	86	153	238	558	949	1,035
奈良	5	11	35	51	96	70	411	577	628
和歌山	7	12	22	41	99	84	233	416	457
鳥取	3	1	10	14	65	29	107	201	215
島根	12	5	56	73	105	96	655	856	929
岡山	8	6	38	52	115	85	458	658	710
広島	9	15	62	86	167	152	510	829	915
山口	2	8	12	22	46	47	107	200	222
徳島	2	7	167	176	62	63	164	289	465
香川	10	9	37	56	100	66	297	463	519
愛媛	1	4	44	49	46	33	246	325	374
高知			9	9	14	11	36	61	70
福岡	1	16	57	74	99	94	304	497	571
佐賀	6	7	65	78	57	55	477	589	667
長崎	3	14	69	86	133	95	446	674	760
熊本		3	13	16	39	113	291	443	459
大分	2	5	69	76	73	99	587	759	835
宮崎	2	12	24	38	64	51	214	329	367
鹿児島	6	5	172	183	150	112	1,091	1,353	1,536
沖縄			35	35	22	24	279	325	360
合計	387	629	2,895	3,911	5,178	5,135	21,914	32,227	36,138

審判員級別一覧表

平成27年3月31日

加盟団体	級	1 級	2 級	3 級	合 計
北海道		390	415	1,479	2,284
青森		23	72	202	297
岩手		255	365	1,793	2,413
宮城		228	176	863	1,267
秋田		58	51	432	541
山形		243	141	535	919
福島		269	198	1,790	2,257
茨城		195	227	804	1,226
栃木		234	156	851	1,241
群馬		174	101	268	543
埼玉		498	242	1,962	2,702
千葉		218	212	778	1,208
東京都		269	253	1,685	2,207
神奈川県		336	383	2,054	2,773
新潟		644	619	3,466	4,729
富山		225	292	726	1,243
石川		152	186	214	552
福井		266	382	933	1,581
山梨		227	270	1,695	2,192
長野		872	624	2,708	4,204
岐阜		352	439	1,374	2,165
静岡		283	270	940	1,493
愛知県		352	314	1,535	2,201
三重		196	232	1,037	1,465
滋賀		260	416	2,025	2,701
京都		341	385	1,479	2,205
大阪		218	266	1,141	1,625
兵庫		215	357	1,057	1,629
奈良		267	182	883	1,332
和歌山		113	152	503	768
鳥取		96	71	158	325
島根		276	284	1,540	2,100
岡山		219	177	922	1,318
広島		339	302	1,146	1,787
山口		73	92	223	388
徳島		126	130	732	988
香川		205	170	691	1,066
愛媛		129	88	589	806
高知		41	27	90	158
福岡		194	217	855	1,266
佐賀		159	169	1,053	1,381
長崎		259	248	1,105	1,612
熊本		95	191	714	1,000
大分		145	247	1,442	1,834
宮崎		157	120	527	804
鹿児島		284	326	2,627	3,237
沖縄		46	48	663	757
合 計		11,216	11,285	52,289	74,790

永年審判員級別一覧表

平成27年3月31日

加盟団体	級	平成26年度 新規登録者			累 計 数			合 計
		1級	2級	3級	1級	2級	3級	
北海道					9	9	3	21
青森					2	2		4
岩手			1		6	2		8
宮城		2	1	2	15	21	26	62
秋田								
山形					2	1		3
福島					6			6
茨城					1			1
栃木					2			2
群馬								
埼玉					2	1		3
千葉			1		3	2		5
東京都					3	6		9
神奈川県		1			13	4	1	18
新潟		1			3	1		4
富山								
石川								
福井					1			1
山梨					1		1	2
長野					2			2
岐阜					2	5	2	9
静岡県					4	2	1	7
愛知県		2			9	1		10
三重					1	1		2
滋賀					8	4	2	14
京都					3	1	1	5
大阪					5	4		9
兵庫								
奈良							1	1
和歌山					1	4	5	10
鳥取								
島根								
岡山					3			3
広島			1		5	3	2	10
山口								
徳島					1		2	3
香川								
愛媛					7		4	11
高知					3			3
福岡						1		1
佐賀					1			1
長崎					7			7
熊本							1	1
大分								
宮崎					2	1		3
鹿児島					1	2	1	4
沖縄								
合 計		6	4	2	134	78	53	265

9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を13社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

また、愛好者の用具購入時の利便性の向上を図るため、日本ゲートボール認定用品工業会との協議を重ね、従来の同一製造メーカーによるスティックのヘッドとシャフトの組み合わせから、異なる製造メーカーでも組み合わせることのできる二種類の「共通金具」へと統一し、その運用を開始した。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

公式競技規則の改正に伴い、順次、競技規則や審判実施要領等の書籍を改訂・刊行した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

1) レッツ・トライ・ゲートボールの作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

小学校や児童館等、ジュニア世代や学校関係者への普及活動の拡充を図るため、親しみやすく分かりやすいイラストを中心とした初心者向けのパンフレットを作成し、47都道府県へ配布するとともに、誰でも活用できるようにホームページ上での公開・情報提供を行った。

作成・配布数：12,000部

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功績のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。

また、本連合の設立30周年を記念して、本連合が実施する各種普及事業および組織運営に功績のあった個人・団体を表彰した。

功労賞等の表彰結果

- | | |
|---------------|-----------|
| ① ゲートボール功労賞 | 43名 |
| ② 健康功労賞 | 285名 |
| ③ 審判功労賞 | 243名 |
| ④ 設立30周年特別功労者 | 584名・47団体 |
- （加盟団体推薦：458名・3団体）
（日本連合推薦：126名・44団体）

(2) 各種大会への後援

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第26回さくらんぼゲートボール全国大会	さくらんぼゲートボール全国大会実行委員会	山形県東根市	6月18日～6月19日
第27回発祥の地杯全国ゲートボール大会	芽室町芽室町教育委員会	北海道芽室町	8月30日～8月31日
第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ねんりんピック)	ねんりんピック栃木2014佐野市実行委員会	栃木県佐野市	10月4日～10月6日
第2回山ノ内町観光大使杯三遊亭円楽ゲートボール大会	山ノ内町観光大使杯三遊亭円楽ゲートボール大会	長野県山の内町	10月7日～10月8日
第31回火の国全国ゲートボール大会	第31回火の国全国ゲートボール大会実行委員会	熊本県天草市	10月12日～10月13日
第23回小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会実行委員会	香川県小豆島町	3月7日～3月8日
第19回JLC杯スーパーゲートボール大会	株式会社日本レジャーチャンネル	静岡県伊豆市	3月7日～3月8日

(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

ゲートボール競技参加に係る事故にあった会員に見舞金を支給するとともに、事故の事例を収集し、ゲートボール活動中の事故防止の啓発に努めた。

平成26年度の見舞金対象者は97,493名となり、前年度と比較して9,140名減少した一方、支給件数も前年比21件の減少となった。

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	死 亡	入 院	通 院	見舞金支給額(円)
平成24年度	117,472	125	8	50	67	5,975,000
平成25年度	106,633	106	4	49	53	5,545,000
平成26年度	97,493	85	6	40	39	4,295,000

② 平成26年度ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計				
	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	計	
骨 折		9	12					9	2		18	14	32	
打 撲		1	6					2	2		3	8	11	
挫 傷			6					1	1		1	7	8	
捻 挫			4						1			5	5	
心臓器障害				1	3	1	1				2	3	1	6
脳疾患				1	8			1			1	9		10
その他			3	3	6				1		3	6	4	13
合計		10	31	5	17	1	1	13	7		6	40	39	85

③ 平成26年度見舞金対象者数および事故発生状況一覧表

加盟団体	見舞金対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	死亡	入院	通院
北海道	888	2		2			2	
青森	525							
岩手	3,482	3			3	1	2	
宮城	3,176	1	1					1
秋田	1,047	2		2		1	1	
山形	1,547	1	1					1
福島	3,697	3	3					3
茨城	1,780	2	2				2	
栃木	2,195	3	1	2			2	1
群馬	1,402	1			1		1	
埼玉	4,251	2	2					2
千葉	1,779	2			2		2	
東京	1,255	1		1			1	
神奈川	4,506	4	2		2		1	3
新潟	7,049	3	3				1	2
富山	1,653	1	1					1
石川	615							
福井	2,328							
山梨	2,719	7	3	2	2		4	3
長野	5,392	3	2	1		1		2
岐阜	2,980	1	1					1
静岡	2,109	1	1					1
愛知	1,881							
三重	1,793	1		1		1		
滋賀	4,184	2		1	1	1	1	
京都	2,790	1			1			1
大阪	2,656							
兵庫	2,751	3	3				2	1
奈良	1,163	1	1				1	
和歌山	899							
鳥取	398							
島根	2,599	2	2				1	1
岡山	1,613	3	1	1	1	1		2
広島	2,448	4	1	3			4	
山口	557							
徳島	704	2	2				1	1
香川	965	3	3					3
愛媛	788							
高知	161							
福岡	1,455	8	2	1	5		4	4
佐賀	1,769	1			1			1
長崎	2,199	5	1	4			4	1
熊本	2,051	2	1		1		1	1
大分	1,866	1	1					1
宮崎	408							
鹿児島	2,438	3		2	1		2	1
沖縄	582							
合計	97,493	85	41	23	21	6	40	39

2) ドーピング防止活動の協力推進

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の協力を得ながら、全国大会出場チームに対してのガイドブックの配布や、大会会場において特設コーナーを設けアウトリーチプログラム（パネル等の展示や各種資料の公開等）を行うなど、ドーピングの防止活動を展開した。

今後も、ドーピングに関する啓蒙活動の推進および検査実施に向けた体制づくりや環境整備を図っていく。

(4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」を随時更新することにより、ゲートボールに関する各種の情報を国内外に発信した。

また、ゲートボール情報誌「ゲートボールNavi」を1回発行し、見舞金対象者に配付することにより、紙媒体での情報提供にも努めた。

さらに、テレビ、新聞等マスコミ各社に対しても、全国大会の告知のほか適宜ニュースリリース等を配信し、ゲートボールの多様な価値と役割、特に地域の活性化や高齢化社会におけるニーズ等を加盟団体と連携し地方紙にも配信し、広く社会にアピールした。

1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

平成26年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ① 期 間 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
- ② 制作配信 株式会社日本レジャーチャンネル
- ③ 配信方法
 - a. スカイパーフェクトTV! 380ch 680ch
 - b. ケーブルテレビ167局（平成27年3月31日現在）
- ④ 放送回数 104回（毎週土曜日・日曜日 6:00～6:55）

2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ① 名 称 等：ゲートボールNavi2014年号（A4版、縦、カラー、本文30ページ）
- ② 発 行 日：平成26年12月
- ③ 発 行 数：110,000部
- ④ 配 付 先：見舞金対象者ほか

(5) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が管理・運用している審判員、見舞金対象者等のデータ一元化により日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、「会員データシステム」の整備を進め、基本システムを加盟団体に実際に操作してもらい、より操作性の良いシステム作りを目指した。

(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄附金・賛助金および協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員29社（平成27年3月31日現在）

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市堀込町2541
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市島内5330
株式会社サン	新潟県三条市下須頃5-1
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城5-9-14
株式会社シャトル	福井県越前市家久町87-21-1
株式会社ロンウッド	富山県南砺市法林寺518
株式会社本郷	広島県廿日市市木材港北1-4
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里3-12-23
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町1-12-8
有限会社やるき産業	熊本県熊本市南区城南町今吉野1048-2
羽立工業株式会社	静岡県湖西市新所3
株式会社ウシクボ	東京都墨田区東向島6-15-7
井上工業株式会社	兵庫県加東市上滝野1613
トップツアー株式会社	東京都新宿区西新宿7-5-25
大日本トラベル株式会社	東京都港区新橋5-25-4
東日観光株式会社	東京都中央区築地4-7-5
近畿日本ツーリスト株式会社	東京都千代田区東神田1-7-8
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区西五反田2-19-3
株式会社日本旅行	東京都中央区日本橋1-19-1
株式会社天賞堂	東京都中央区銀座4-3-9
株式会社かいせい	東京都港区西新橋2-15-3
株式会社恒亜印刷	東京都文京区千石2-4-5
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区西神田3-3-5
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市矢野口3266-1
株式会社サンワ	埼玉県戸田市新曾2002
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区西新橋2-2-4
株式会社イルマックス	東京都墨田区緑2-11-2
株式会社ジェイティービー	東京都品川区東品川2-3-11
株式会社健康プラザパル	東京都中央区新川1-17-21

2) 大会協賛企業

山崎製パン株式会社	トップツアー株式会社
一般財団法人BOAT RACE振興会 (通称：BOAT RACE振興会)	株式会社シャトル
	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー
近畿日本ツーリスト株式会社	株式会社健康プラザパル
名鉄観光サービス株式会社	株式会社ジェイティービー
株式会社本郷	有限会社やるき産業
羽立工業株式会社	株式会社サン

3) 寄付金

平成26年度においては、8名2団体10件から総額321,000円の寄付があり、全額を「学校スポーツとしての育成」事業に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

○個人

酒 匂 照 善

灘 岡 隆

小笠原 進

天 羽 敏

秦 恭 治

内 田 武 雄

高 田 節 子

菅 原 英 郎

○団体

株式会社アオイスports企画

全国ユースゲートボール連盟

【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）

平成27年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
荒木田裕子	公益財団法人日本オリンピック委員会 理事	
岡 寄 修 平	海洋政策研究財団 常務理事	
児 玉 義 人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
広 渡 英 治	公益財団法人日本吟剣詩舞振興会 専務理事	
藤 川 務	一般財団法人BOAT RACE振興会 常務理事	
本 郷 明 義	広島県ゲートボール連合 会長	日本ゲートボール 認定用品工業会会長
三ツ谷洋子	株式会社スポーツ21エンタープライズ 代表取締役	
若 林 静 子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡 邊 一 利	公益財団法人笹川スポーツ財団 専務理事	

別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）

平成27年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
小 野 清 子	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
遠 藤 容 弘	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
石 川 牧 子	株式会社日テレイベンツ 顧問	
石川恵一郎	公益財団法人全国高等学校体育連盟 専務理事	
小 池 保 夫	一般財団法人日本モーターボート競走会 会長	
小 高 幹 雄	一般財団法人BOAT RACE振興会 会長	
鈴 木 克 昌	愛知県ゲートボール連盟 会長	衆議院議員 (元蒲郡市長)
船 田 元	栃木県ゲートボール協会 会長	衆議院議員
戸 部 英 一	北海道ゲートボール連合 会長	

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

平成27年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
西 本 克 己	株式会社東京ビー・エム・シー 代表取締役社長	
天 城 一	公益財団法人社会貢献支援財団 専務理事	

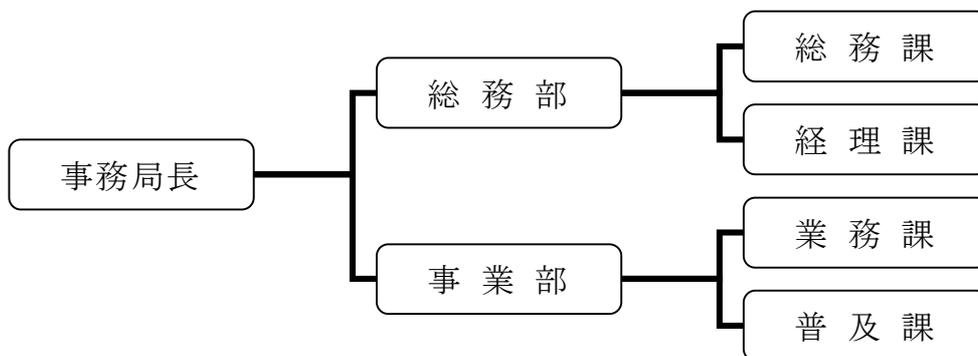
別表第4 アドバイザー

平成27年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 隆男	北海道 G B 連合	鈴木 信久	京都府 G B 連合
久米田 勇二	青森県 G B 協会	橋本 健吾	大阪 G B 連盟
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	田桑 稔	兵庫県 G B 連合
佐藤 黎子	宮城県 G B 連盟	辻本 環	奈良県 G B 協会
成田 成男	秋田県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
枘田 敏行	山形県 G B 協会	中村 孝太郎	鳥取県 G B 協会
石井 賢明	福島県 G B 協会	梶田 郁宗	島根県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	瀧口 壽美男	岡山県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
深代 栄三	群馬県 G B 協会	中田 憲明	山口県 G B 協会
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
石井 準一	千葉県 G B 連盟	川畑 省三	香川県 G B 連盟
小林 茂量	(特)東京 G B 連合	豊田 義登	愛媛県 G B 連合
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	山内 高	高知県 G B 協会
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	月岡 美次郎	福岡県 G B 連合
河森 敏弘	(特)富山県 G B 協会	古賀 俊弘	佐賀県 G B 協会
安地 博	石川県 G B 協会	加藤 敏夫	長崎県 G B 協会
古崎 邦夫	福井県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
加藤 晃夫	山梨県 G B 協会	小野 悟	大分県 G B 協会
生駒 正	長野県 G B 連盟	西村 忠喜	宮崎県 G B 協会
宮川 昭雄	岐阜県 G B 連盟	児玉 義人	鹿児島県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	大城 哲夫	沖縄県 G B 連合
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	三遊 亭 円楽	学 識
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓一	学 識
山本 議照	滋賀県 G B 連盟		

別表第5 事務局組織図

平成27年3月31日現在



平成26年度事業報告における附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

平成27年5月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

平成27年 5 月 22 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 小 野 清 子

平成26年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成27年 5 月 27 日

監 事 西 本 克 己

監 事 天 城 一